

終末期に向けた活動支援事業について
～平塚市版エンディングノートの試行開始～

1 これまでの経緯（昨年度）

本市においては、終末期に向けた活動支援事業について、昨年度より『平塚市終末期に向けた活動支援事業検討会』を立ち上げ、2か月に1度の頻度で検討会を実施し、平塚市の現状を共有し課題を検討していきました。

【検討内容】

- （1）終末期に向けた活動支援事業の検討に関する事。
- （2）エンディングノートの作成に関する事。
- （3）終末期支援にかかる課題及びその解決策に関する事。

【参加者】

高齢者よろず相談センター

介護予防事業担当者連絡会（保健師、看護師）

主任ケアマネ連絡会（主任ケアマネジャー）

地域支援担当者連絡会（社会福祉士）

認知症地域支援推進員

成年後見利用支援センター

在宅医療・介護連携支援センター

各1名

昨年度開催された第2回平塚市在宅医療介護連携推進協議会の御意見を参考に終末期に向けた活動支援について検討を行い、「平塚市版エンディングノート試案」を作成いたしましたが、第6回会議（令和2年3月18日）以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、検討会は開催ができない状況となっていました。

2 今年度の取り組み（令和2年度）

検討会を令和2年8月3日から再開し、終末期に向けた活動支援について検討するとともに、一部の包括で平塚市版エンディングノートの試行を令和2年10月から開始しました。

【検討会の開催状況】

- ・第1回 令和2年8月3日（月）

終末期に向けた活動支援事業の確認。エンディングノートのスケジュール確認等。

- ・第2回 令和2年9月24日（木）

エンディングノートの試行の協議等。

令和2年10月から令和3年1月までの試行を確認。

（5包括：まつがおか・みなと・あさひきた・富士白苑・倉田会）

コロナ禍により、講演会など集団を対象に積極的な実施は困難であることから、感染症拡大防止を優先にし、相談支援時や小集団の場（民協定例会、サロンなど）で個別配布など、配布方法を工夫。

・第3回 令和2年11月18日（水）

試行状況の報告（5包括）、包括支援センター向け職員研修会の開催協議（もしばなゲーム）。

3 今後の動き

新型コロナウイルス感染拡大状況を考慮の上、エンディングノートは令和3年度の本番開始へ向けて、最終調整、運用方法の検討を進めます。

【検討会の開催予定】

・第4回 令和2年1月頃・・・試行によるアンケートまとめ

・第5回 令和2年3月頃・・・エンディングノートの最終調整

その他、終末期に向けた活動支援事業を検討。

【令和3年度以降】

エンディングノートの配布開始（令和3年6月頃）。

終末期に向けた活動支援事業の実施。

平塚市版エンディングノート【完成版】などについては、令和2年度第3回平塚市在宅医療介護連携推進協議会でも報告させていただきます。

以 上